

議事録 兼 報告書

会議名称	伊那市上下水道事業運営審議会
日 時	令和元年7月16日（火） 18:30～20:15
場 所	伊那市役所 庁議室
議 事 内 容	
<p>1 開会のことば 副会長</p> <p>2 あいさつ 会長 市長 異動職員自己紹介</p> <p>3 会議事項（議長 会長）</p> <p>（1）水道料金及び下水道使用料の改定について 市長から会長へ諮問</p> <p>（ア）水道料金の改定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により、事務局説明 ・質疑討論 <p>（委 員）前回までの会議の中では、こういった簡単に分かりやすい資料というのはありませんでした。今回は良い資料になっていると思うので質問の余地が無いと思うし、値上げも無いということでこのままいってもらいたいと思います。ただ、さっきは触れませんでしたけれども、一般会計の補填というものについて、なるべくいただきたいという願いをしてきたが、組み込まれてきているという考え方でよろしいでしょうか。</p> <p>（事務局）令和2年度から4年度まで3年間で1億円の出資をさせていただきます。総括原価に対応する利用料金ということで値上げの必要は無いということになります。</p> <p>（委 員）1億円の出資が無いとした場合、どれくらいの値上げになりますか。</p> <p>（事務局）3%程度の値上げが必要になる見込みです。補填財源を平成30年度並みに確保していくためには、それくらい必要になる見込みです。</p> <p>（委 員）人口減少というのは、日本全国よほどの大都市でなければどこも同じ傾向だと思えますけれども、このシミュレーションというのはどういう形で行ったのでしょうか。</p> <p>（事務局）ちょうど水道の認可を取り直しておりまして、コンサルに委託をして、人口についてもその中でコーホート法という方法で人口を見込んでいます。</p> <p>（委 員）統計的な手段で、これくらい減るといような可能性があるという感じでしょうか。</p> <p>（事務局）いろんな種類がありますが、伊那市の企画でやっているような内容も対比しながら、一番現実的な数字を出しています。</p> <p>（委 員）今非常に財政が厳しい中で、一般会計から1億円入れていただくということは市民生活を考えれば非常にありがたいことだと思います。ただ将来的に長期に見たときにより安定的な、一番気になるのは施設設備の老朽化、あるいは更新とかということが確</p>	

実に行われていくのかということ。その辺は9ページの上の図で説明いただいたと思いますが、もう少しわかりやすく説明いただけるとありがたい。

(事務局) 資本的支出、建設改良をどれだけ抑えていくのかということになりますが、やはりこれからは更新がどんどん出てきます。また耐震化も出てくると思いますので、そこらへんは以前作成した水道事業経営健全化計画の中で示しています。水道事業については、おおむね4億8千万以内に抑えられるように実施しています。

(事務局) 9ページの図については、水道のアセットマネジメントというものを作成しております。この中で建設改良に特化したもので、今後100年間の建設改良を見込んでいます。中長期的な見通しというところでは、今年度経営健全化計画の見直しを行うことになっているため、少なくとも今後10年程度の中期的な見通しを作成します。当審議会にも、見直した結果については年度末の審議会でお示しできると思います。

(委員) 基本的な算定方式に従って、建設改良費を算定し、安定した維持管理ができるだろうという見込みで計算したという理解でよろしいでしょうか。

(事務局) 結構です。

(委員) いくつかの文章の中に補填財源という言葉が出てきておまして、伊那市の水道事業はこの補填財源の残高が少ないということだったと思います。今後老朽施設の更新などを計画的に進めていくためにこれを増加させていく必要があると出てきております。今後の見通しの中で、一般会計から財源として3年間で1億円もらうことによって補填できるし、なおかつ今後の見込みとして、この補填財源、純利益ですとか、そういうものの増加する見込みはあるのでしょうか。

(事務局) まず、平成30年度程度の補填財源を確保していきたいということで、その場合3%程度の値上げをすることで確保できる見込みです。そうしないために、一般会計から3年間で1億円の出資を頂く中で据え置きとするということになります。将来の補填財源の見通しについては、先ほど申し上げた健全化計画の中でお示しできると思います。

(委員) 多分そこが大事だと思います。いつまでも市から1億円、2億円といただければありがたいとは思いますが、健全化だとか民営の考えで行くと、収入から支出を引いて運営していけるのが一番良いと思いますし、そういうところも考えていただいているんだなと思いました。

(委員) 今の収入というのは補填以外に考えられないと思う、他に収入ありませんから、一般会計からの補填というのは最重要に押してもらわないと困ります。この3年間はOKをしますけれども、それ以降変わった時にそんな話無かったよということにならないようにしてもらいたい。この3%の値上げというのも限界、上げてもらっては困ります。

(委員) 今補填についていくつかご意見を頂きました。私としても委員から意見の合ったように、これがずっと続いていけばよいと思いますが、ただ本来の形を考えれば、補填をしなくても、値上げするとかしないとかいうことではなく、適切な利用料金の中で賄っていくことが一番健全なわけ。その中で今補填をせざるを得ない状況になっている。ここの会議の場ではなく、もっと政治レベルの話になってくるのかもしれない

せんけれども、そういう構造っていうのがどこに問題があるのかということについてはっきりさせながら、今後の補填をどうあるべきかという議論は必要かと思います。多分それが健全化計画、あるいは外部評価もこれからどんどん入ってくるでしょうから、どういう評価がされるのか、我々としても真摯に受け止めながら、どこかにひずみがないように、安定するようにしなければならない。今回はとりあえず3年間ということでございますので、その後々のことにつきましてはまた皆さんからお知恵をいただきながら、また議論をしていかなければいけないと思っています。

(委員) 補填が始まったのはいつからでしょうか。

(事務局) 水道事業については前回の改定からです。

(委員) それまでは健全にできていたということでしょうか。

(事務局) 水道事業に関してはそうなります。

(事務局) 逆に少しずつ値上げしてきたということになります。

(委員) 水道料金を年々上げてきたけれども、据え置くために補填をしてもらったということでしょうか。

(事務局) 水道料金は県下トップに近くなってきていますので、前回は企業団の水の単価も下げてもらい、1億円の出資もしてもらって0.04%の値下げということを打ち出して、逆に水道水を使ってもらいたいという意味も込めて値下げをしました。

(委員) 水道料金に係らず今いろんな面で人口減少が影を落としていまして、水道料金とか下水道使用料だけで議論しても収まらないだろうと思います。ここではあくまで背景としてとらえるしかない。結局インフラストラクチャどうこうって考えるときには、水道だけではなくて、たとえば今いろいろほかの分野で、たとえば農業なら農業で新規就農者を増やそうとか、あるいは工業団地みたいなものを作って人口増やそうとか、そういうことが単なる人口増加という話ではなくて、全てこういうことに引っかかってくるものですから、そういう点はやはり包括的に見る必要があると思います。全国的に見ても人口が急激に上がるなんていうことは予想できませんので、中長期的には補填ありきではなく、それはそれとして考えながら、中長期的に考えていかなければならないと思います。

(イ) 下水道使用料の改定について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

(委員) 下水道の方も、先ほどの水道と同じような形で施設設備の維持費とか更新については見込んでいるということでしょうか。

(事務局) 同様です。

(委員) 今回は追加出資ということで、この3年間は据え置きとなります。たとえばその先を見込むっていうとどうなんでしょうか。ここで議論すべきことではありませんが、その辺を踏まえて、今回の追加出資によって値上げをしないということが適正なのかどうかといった事ですね。

(事務局) 3年間で数字をひろってありますが、その後の見通しとしては令和4年度に企業債

償還のピークが来ます。それ以降は緩やかではありますが少しずつ減っていく中で、これについても水道と同じになりますが、やはり今年度健全化計画の見直しを行うことになっています。その中で皆さんにも経営見直しをお示しできる見込みです。また下水道についても、下水道ストックマネジメント実施方針としてこの3月に策定を行っておりまして、これにつきましても建設改良については100年間の見込みをしています。このあたりについても健全化計画に具体的に落とし込む中で、具体的な見直しがお示しできると思います。

(委員) 下水道の5ページの上段に下水道の有収水量がのっていて、水道の有収水量と比べると差があるんですが、これは水洗化が100%になっていないからそのギャップというか差が出ているということでしょうか。

(事務局) 接続は当然増えていますが、人口が減っているというところが影響していて、下水に関しては接続が増えても横ばいという状況になっています。今年美築地区が最終年度になっていて、今までは面整備を継続しているので分母も増え、率がなかなか伸びなかったんですけども、面整備が100%になればこれがかなり上がってくると思います。ただ人口減少の影響で、最終的には今より減ってしまうと思います。昔の考えは、下水が普及すれば水をたくさん使うという計算だったんですが、実際は料金が入ってくるので、生活していて水が増えるのは、実際はトイレだけです。家にずっといる人は使いますが、いない人はあまり増えていかない。昔は、便器は流すのに10リットル使っていたが、最新は3.5リットルしか使わなくなってそういうことも影響しています。

(委員) 今はトイレの水だけでなく、雑排水、お風呂の水とか、下水に入れちゃっていますよね。

(事務局) お風呂の水などは下水があってもなくても使った量はあまり変わらず、変わるのは水洗トイレの分だけです。それと下水道を使いだすと、料金が今までの倍になってしまうという感覚があって、使わなくなってきているということもあると思います。

(委員) たとえばある家庭で10^m³水を使ったとすると、それが全部下水に流れたって計算をするのですか。

(事務局) 下水の使用量は基本水道メーターを基にいただくことになっています。かなり家も増えていますが、核家族化が進んでいるということもあって、相対の人口は増えませんが、加えて新築の家は節水型の機器を使うので、なかなか増えていかない状況です。

(委員) 非常に難しい問題ですよ。節水するということは、一面的にとらえるわけではなくて、大切な水資源、環境資源ですので無駄に使わないということは大事なことだと思います。

(事務局) その辺が料金の基本的な考えの中で、水の大切な資源だから、多く使う人には多く料金を払ってもらいましょうというのが通増性の基本的な考え方です。そこを逆に多く使ってもらった人を安くしたいというところもあります。今は多く使っている企業の部分の単価を安くして、多く使っていただいている。

(委員) 時代というか地球環境問題との関係で、水をどんどん使ってくださいというのも現

実的ではないと思います。やはり節水というか、無駄には使わないということは基本だと思っただけですけども、電気もそうですよね、節電ということで消費量の低いもの、だからLEDが普及していったと思っただけです。節水、節電の効果とすると、家庭で電気代や水道代がかかる、値上げが無ければ支払う額が下がる。その効果が実際どれくらい本当にあるのか、多分生活の中でなかなか実感しにくいところもあります。だからたくさん使う人にはたくさん払ってもらいましょう、っていうことと併せてその辺をよく検討しながら、傾斜がどのくらいが適切なのかですとか、その辺を十分議論していかなければという気がしています。特に人口減少で、接続が増えている間はいいんですけど、人口減少になったとすると由々しき問題で、一般会計からどんどんお金を組み込んでもらうのか、ということにつながりかねない。この辺は市長さんをはじめ議会の皆さんにもしっかり考えてもらわなければいけないところだと思います。基本的には上水道と同じということだと思います、言葉がなかなか頭に入ってこないところもあります。資料はだいぶ分かりやすくしていただいたと思いますが、読み込むにはだいぶ時間がかかると思います。現状中長期で見ると、決して甘いものではないというイメージです。いろいろな社会情勢で、先ほど話がありました消費税の問題ですとかいろいろな状況を踏まえる中で、白鳥市長から一般会計から出しましょうということで、この3年間は値上げをしないということでどうでしょうかと諮問を受けています。これに基づいて次回に向けて答申案の素案を事務局と私と副会長で作らせていただいて、今日の議論に基づいて次回に向けてまとめてまいります。ただこの審議会は単に値上げをしないのがいいのか悪いのか、という判断だけではありません。諮問を受けていますから答申は、一般会計から補助が入っていることは前提として値上げをしないということは是非かということが一番大事な答申になるわけです。ただ是にしろ非にしろ、特に是とする場合100%是とするということでは無いと思っただけです、今日の議論を聞いていると。そこでこの3年間の話だけではなく、3年後も含めて委員の皆さんから付帯意見として、今回はこれで是としますけれどもということで、こういうところはぜひ配慮してほしいとか、努力してほしいということも付帯意見としてぜひつけてまいりたいと思います。付帯意見はいろいろあると思いますので、なるべく取り込みながらまとめていきたいと思っています。少なくとも今日みなさんの質問を聞きながら、また事務局からの説明を聞きながら、それほど将来明るくないなと思います。補填財源がある、一般会計から出資が来ているうちはいいでしょうけれども、一般会計だって青天井でお金があるわけではないですし、市全体のの経営を考えればほかに使うべきところがあるかもしれません。そういう中でこれをただ是とするわけにはいかないと思っていて、やはりそうすると合理化っていう言葉は大嫌いなんです、インフラっていうのはあまり合理化しちゃいけない、サービスが低下して不安定になる。じゃなくて、効率化ですね、無駄をこれからどれくらい経費の中から落としていけるのかということですね、例えばそういうことを来週までに出せとかそういうことではなくて、この3年間で、そういうことを工夫を凝らして、市長を中心にそういうことを進めてほしい、というようなことで付帯意見をつけていけ

たらしいなと思います。

(ウ) 次回審議会の日程の改定について

- ・事務局より提案 8月21日(水) 18時30分

伊那市役所庁議室

- ・異議なし

(2) 平成30年度水道事業及び下水道事業等の決算状況について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

なし

(3) 令和元年度水道事業及び下水道事業等の予算概要について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

なし

(4) 水道事業および下水道事業経営健全化計画の進捗状況について

- ・資料により、事務局説明
- ・質疑討論

なし

(5) その他

- ・なし

4 その他

- ・次回会議の日程を再度確認(8月21日(水) 18時30分)

5 閉会のことば

副会長

以 上